

研究者	(ふりがな) 氏名	永岑 三千輝	生年月日 (年齢)	1946年1月22日 (71歳)
	所属研究機関・ 部局・職	横浜市立大学名誉教授・ 大学院都市社会文化研究科客員教授	学位	博士(経済学)
研究業績				
どのような問題意識と研究経過から、ホロコーストを研究対象としたか。ヨーロッパ現代史の中のホロコーストとは？ 時系列的には、現在から過去にさかのぼる形式で、論文と著書および翻訳書に関して、業績を列挙。 論文の9、10、11、12、13、14を資料として配布。				

論文

1. 永岑三千輝「ユンカースの世界戦略と中国 1919-1925」成城大学『経済研究』第218号、2017年11月(10月現在、再校修了)、1-35。
 2. 永岑三千輝「ユンカースの世界戦略と日本」『横浜市立大学論叢』第68巻 社会科学系列 第2号、2017年2月、21-94。
 3. 永岑三千輝「ヴェルサイユ体制下ドイツ航空機産業の世界的転回—ナチス秘密再軍備の前提を考える—」『国際武器移転史』(明治大学国際武器移転史研究所) 第2号、2016年7月、3-21。
 4. 永岑三千輝「ヴェルサイユ体制下ドイツ航空機産業と秘密再軍備」(4)『横浜市立大学論叢』第67巻 社会科学系列 第1・2合併号、2016年1月、55-92。
 5. 永岑三千輝「ヴェルサイユ体制下ドイツ航空機産業と秘密再軍備」(3)『横浜市立大学論叢』第66巻 社会科学系列 第2号、2015年3月、1-27。
 6. 永岑三千輝「ヴェルサイユ体制下ドイツ航空機産業と秘密再軍備」(2)『横浜市立大学論叢』第66巻 人文科学系列 第1号、2014年12月、1-29。
 7. 永岑三千輝「ヴェルサイユ体制下ドイツ航空機産業と秘密再軍備」(1)『横浜市立大学論叢』第65巻 社会科学系列 第1・2・3合併号、2014年3月、135-147。
 8. 永岑三千輝「1942年ドイツ軍需経済の課題とシュペーア—ナチス原爆開発挫折の要因分析のために—」『横浜市立大学論叢』第65巻 人文科学系列 第1号、2014年2月、217-235。
- * 配布のホロコースト関連論文(抜き刷りないしコピー)
9. 永岑三千輝「ハイゼンベルク・ハルナックハウス演説の歴史的意味—ホロコーストの力学との関係で—」『横浜市立大学論叢』第61巻 人文科学系列 第3号、2010年3月、99-125。
 10. 永岑三千輝「ハイゼンベルクと原爆開発」『横浜市立大学論叢』第60巻 社会科学系列 第2・3合併号、2009年3月、133-148。
 11. 永岑三千輝「ナチス・ドイツと原爆開発」『横浜市立大学論叢』第60巻 人文科学系列 第1号、2009年3月、49-75。
 12. 永岑三千輝「^{シュペツィアール・ヴァーゲン}特 殊 自動車とは何か—移動型ガス室の史料紹介—」『横浜市立大学論叢』第56巻 社会科学系列 第3号、2005年3月、123-142。
 13. 永岑三千輝「ホロコーストの論理と力学—総力戦敗退過程の弁証法—」『横浜市立大学論叢』第55巻 社会科学系列 第3号、2004年3月、265-296。
 14. 永岑三千輝「独ソ戦の現場とホロコーストの展開」『横浜市立大学論叢』第50巻 社会科学系列 第2・3号合併号、2003年3月、43-90。

著書（単著）

1. 永岑三千輝『ホロコーストの力学—独ソ戦・世界大戦・総力戦の弁証法—』青木書店、2003、242+78.
2. 永岑三千輝『独ソ戦とホロコースト』科研費出版助成、日本経済評論社、2001、vii+481+47.
3. 永岑三千輝『ドイツ第三帝国のソ連占領政策と民衆 1941-1942』同文館、1994、v+398.

著書（共著及び編著）

1. 永岑三千輝「ドイツ航空機産業とナチス秘密再軍備」横井勝彦編著『航空機産業と航空戦力の世界的転回』日本経済評論社、2016年12月、第3章、93-149.
2. 永岑三千輝「ホロコーストの力学と原爆開発」横井勝彦・小野塚知二編『軍拡と武器移転の世界史』日本経済評論社、2012年3月、第8章、209-236.
3. 永岑三千輝・廣田功編著『ヨーロッパ統合の社会史—背景・論理・展望』科研費出版助成、日本経済評論社、2004年2月、vii+372.
4. Nagamine, Michiteru, "The Strategies of the Japanese Government and Trade Associations," in Wolfgang Klenner/ Hisashi Watanabe (eds), *Globalization and Regional Dynamics. East Asia and the European Union from the Japanese and the German Perspective*, Heidelberg 2002, 43-49.
5. 永岑三千輝「ドイツ戦後再建の人的社会的基礎」廣田功・森建資編『戦後再建期のヨーロッパ経済—復興から統合へ—』日本経済評論社、1998年、第二章、55-95.
6. 永岑三千輝「ナチ体制下の戦後構想とドイツ資本主義の組織化」権上康男・廣田明・大森弘喜編『20世紀資本主義の生成—自由と組織化—』東京大学出版会、1996年1月、第十章、313-342.
7. 永岑三千輝「地域・民族・国家—両大戦間のズデーデン問題—」遠藤輝明編『地域と国家』日本経済評論社、1992年2月、第五章、273-319.
8. 永岑三千輝「第三帝国チェコスロヴァキア共和国解体とイ・ゲ・ファルベン」廣田功・奥田央・大沢真理編『転換期の国家・資本・労働—両大戦間の比較史的研究—』東京大学出版会、1988年2月、第三章、123-151.
9. 永岑三千輝「第三帝国における「国家と経済」—ヒトラーの思想構造にそくして—」遠藤輝明編『国家と経済』東京大学出版会、1982年3月、第八章、385-437.

翻訳

1. ハルトムート・ケルブレ著永岑監訳『冷戦と福祉国家—ヨーロッパ 1945—89』日本経済評論社、2014.
2. ハルトムート・ケルブレ著永岑監訳『ヨーロッパ社会史—1945年から現在まで』日本経済評論社、2010.
3. ハルトムート・ケルブレ著永岑訳「1945年以降の独仏の社会関係」廣田功編『欧州統合の半世紀と東アジア共同体』日本経済評論社、2009、第2章。